

**YAMAHA**  
無線LAN アクセスポイント  
『WLX402』 初期設定ガイド

JA

ヤマハ製品をお買い上げいただきありがとうございます。本紙は、本製品を無線 LAN アクセスポイントとして、または Controller-AP としてネットワークに接続するための初期設定を説明しています。初期設定をはじめる前に「取扱説明書」に記載されている警告や注意をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。また、本紙はなくさないように、大切に保管してください。

**設定の流れ**

本製品の設定の変更は、本製品に接続したパソコンの Web ブラウザから本製品の「Web 設定画面」を開いて行います。

- 1 本製品とパソコンを接続する
- 2 パソコンの IP アドレスを設定する
- 3 「Web 設定画面」を開く
- 4 Controller-AP を設定する
- 5 本製品の IP アドレスを設定する
- 6 本製品を設置する

**■ 設定をはじめる前にご用意ください**

**パソコン**

本製品の設定を行うパソコンをご用意ください。

**PoE 給電機器または電源アダプター**

本製品には電源アダプターが付属していないため、PoE 給電機器または弊社別売の電源アダプター (YPS-12V3A) ををご用意ください。

**LAN ケーブル**

パソコンまでの距離に合わせて、LAN ケーブルをご用意ください。

**ご注意**

1000BASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリ 5 (CAT5e) 以上の LAN ケーブルをご使用ください。

**ネットワークの情報**

本製品を接続するネットワークの情報をご用意ください。

**1 本製品とパソコンを接続する**

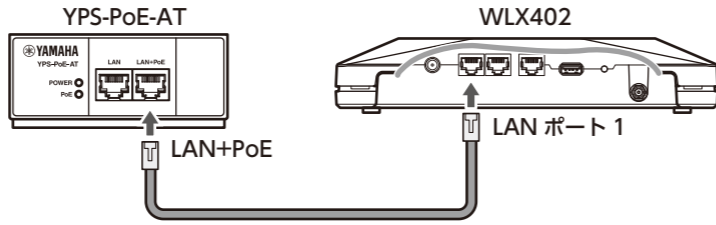
本製品の無線設定を行うために、設定用のパソコンを本製品に接続してください。

**■ PoE 給電機器を使用する場合**

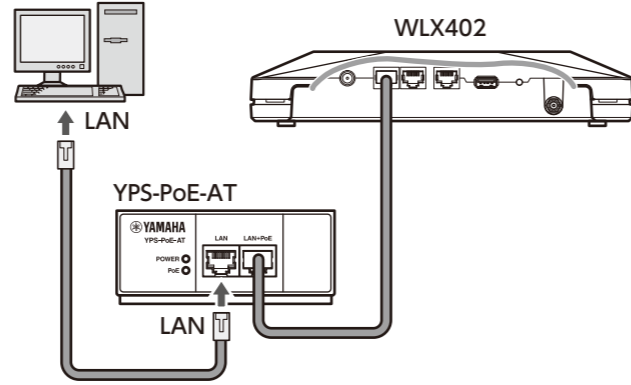
本製品は、IEEE 802.3at に対応した PoE 給電機器からの給電に対応しています。PoE 給電機器を使用する場合は、下記の手順に従って接続してください。本紙では、弊社別売の PoE インジェクター YPS-PoE-AT を例に説明します。

- 1 本製品の LAN ポート 1 と YPS-PoE-AT の LAN+PoE ポートを、LAN ケーブルで接続する。

YPS-PoE-AT から給電がされると、本製品の電源が入ります。YPS-PoE-AT の PoE 給電機能に関しては、YPS-PoE-AT の取扱説明書をご覧ください。



- 2 設定用のパソコンの LAN ポートと YPS-PoE-AT の LAN ポートを、LAN ケーブルで接続する。



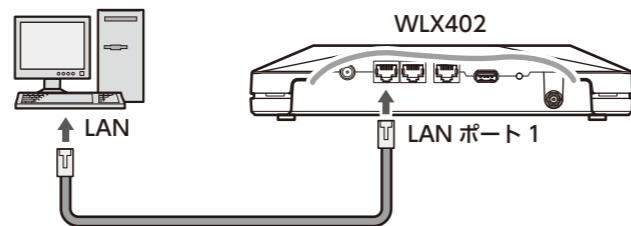
**■ 電源アダプターを使用する場合**

別売の電源アダプター (YPS-12V3A) を使用する場合は、下記の手順に従って接続してください。

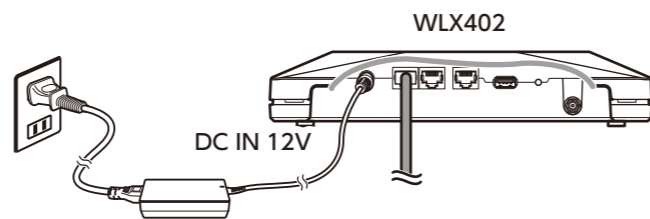
**ご注意**

電源アダプターは、必ずヤマハ YPS-12V3A を使用してください。他の電源アダプターを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

- 1 本製品の LAN ポート 1 と設定用のパソコンの LAN ポートを、LAN ケーブルで接続する。



- 2 電源アダプターを本製品に接続する。



- 3 電源プラグをコンセントに接続する。  
本製品の電源が入ります。

**2 パソコンの IP アドレスを設定する**

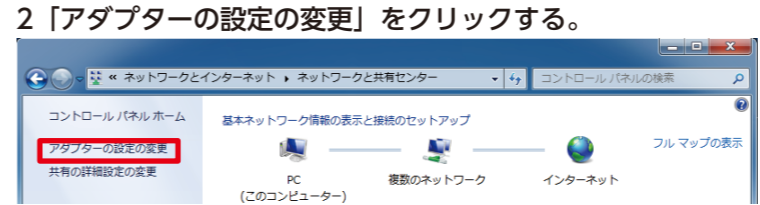
本製品の IP アドレスの初期値は「192.168.100.240」です。「Web 設定画面」を開くために、設定用のパソコンの IP アドレスを一時的に変更してください。

また、パソコンの IP アドレスの設定方法は、OS により異なります。本紙では、Windows 7 を例に説明します。

**ご注意**

- ・パソコンには管理者権限をもつユーザー名でログオンしてください。管理者権限については OS のヘルプなどをご覧ください。
- ・本製品の無線設定が終わったら、パソコンの IP アドレスを元に戻してください。
- ・パソコンの IP アドレスを変更する前に、忘れないように元の IP アドレスをメモするなどして保管してください。

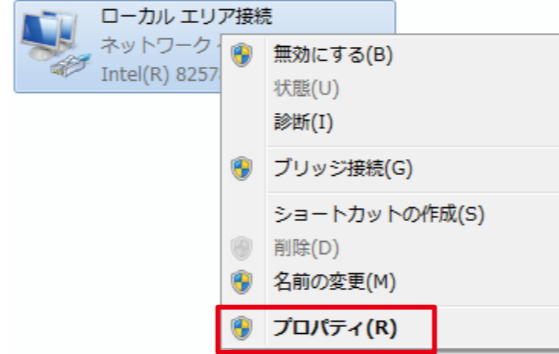
- 1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」→「ネットワークの状態とタスクの表示」を順にクリックする。



- 2 「アダプターの設定の変更」をクリックする。

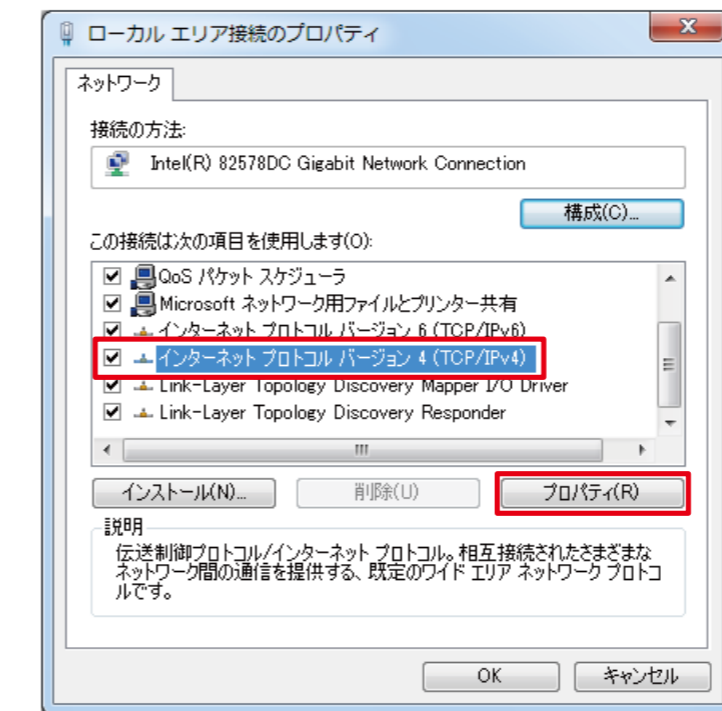
- 3 変更するアダプターを右クリックし、「プロパティ」をクリックする。

変更するアダプターのプロパティ画面が表示されます。

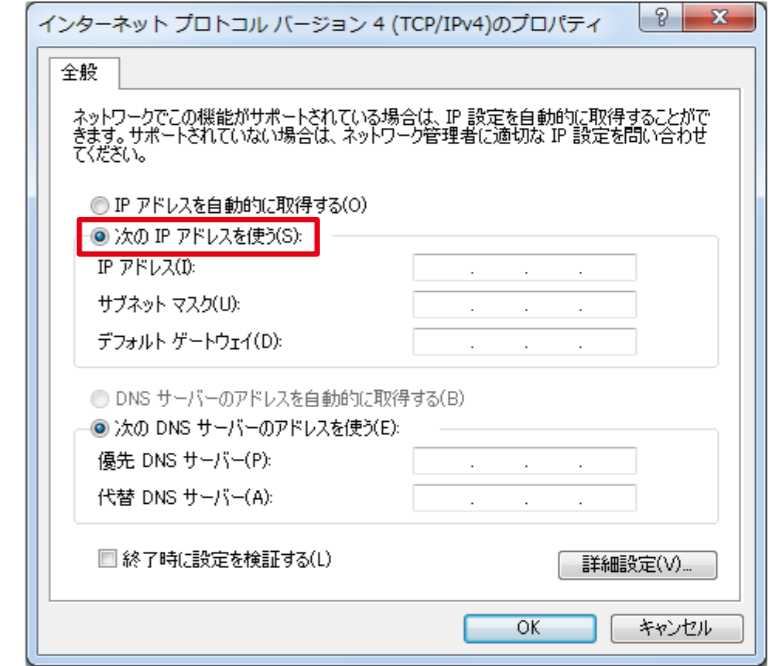


- 4 「この接続は次の項目を使用します」項目で「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする。

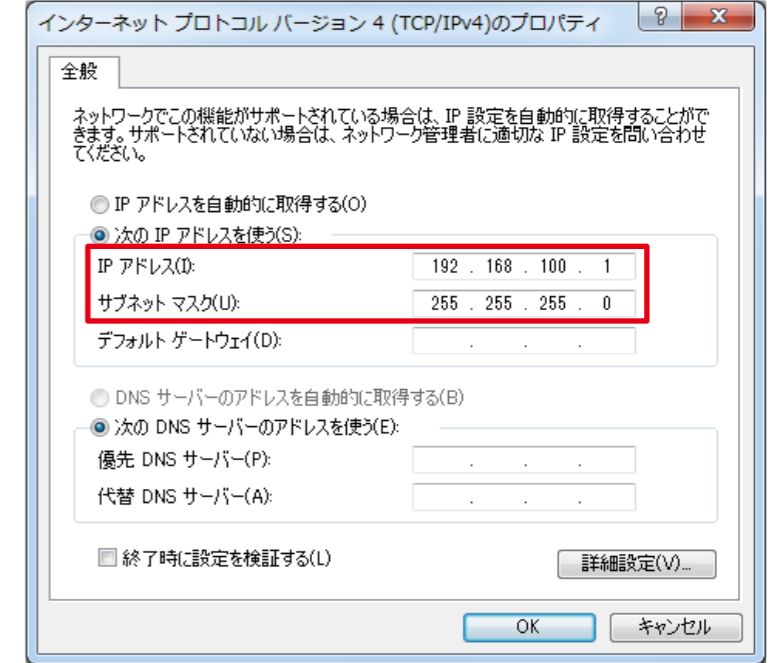
「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が表示されます。



- 5 「次の IP アドレスを使う」を選択する。



- 6 「IP アドレス」欄に「192.168.100.1」、「サブネット マスク」欄に「255.255.255.0」を入力する。



- 7 「OK」をクリックする。

「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」画面が閉じます。

- 8 「閉じる」をクリックする。

「ローカル エリア接続のプロパティ」画面が閉じます。

### 3 「Web 設定画面」を開く

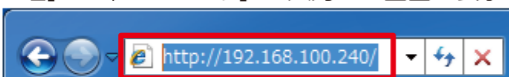
本製品の設定変更は、「Web 設定画面」から行います。「Web 設定画面」を開くには、本製品に接続した設定用のパソコンから操作してください。

#### ご注意

「Web 設定画面」を使用するには Web ブラウザーが必要です。推奨 Web ブラウザーは「操作マニュアル」(Web サイトに掲載)に記載しています。本紙では Windows 7 の Internet Explorer 11 を例に説明します。他の環境の場合は、画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。

1 Internet Explorer を起動する。

2 アドレスバーに「http://192.168.100.240/」と半角英数字で入力し、Enter キーを押す。  
「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面が表示されます。



3 「ユーザー名」欄に「admin」と半角で入力し、「パスワード」欄は空欄のまま「OK」をクリックする。  
「Web 設定画面」のトップページが表示されます。



### 4 Controller-AP を設定する

無線 LAN コントローラー機能を使って、複数の WXL402 の無線設定を制御、管理できます。工場出荷時の状態（初期化後の状態）では、本製品の無線 LAN コントローラー機能は管理される側 (Member-AP) として設定されています。ここでは、本製品を管理する側 (Controller-AP) として設定します。

#### ヒント

本製品を、無線 LAN コントローラー機能により管理される側 (Member-AP) として使用する場合は、本設定は不要です。

1 「Web 設定画面」のメニューから、「基本設定」-「コントローラー設定」を順にクリックする。  
「コントローラー設定」画面が表示されます。



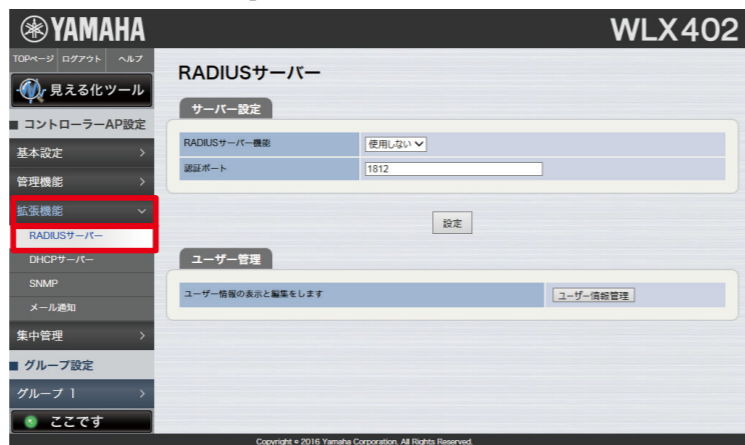
2 「役割」項目で「Controller-AP」を選択する。



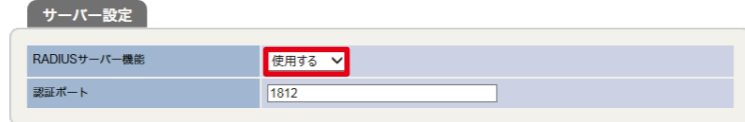
3 「設定」をクリックする。  
設定内容が保存されます。

続いて無線接続の設定を行います。  
ここでは、内蔵 RADIUS サーバーを使ってユーザーを認証する方法を説明します。別の認証方式を使用する場合は、「操作マニュアル」をご覧ください。

4 「拡張機能」-「RADIUS サーバー」を順にクリックする。  
「RADIUS サーバー」画面が表示されます。

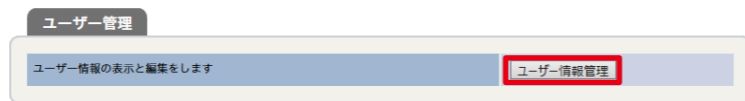


5 「RADIUS サーバー機能」項目で「使用する」を選択する。

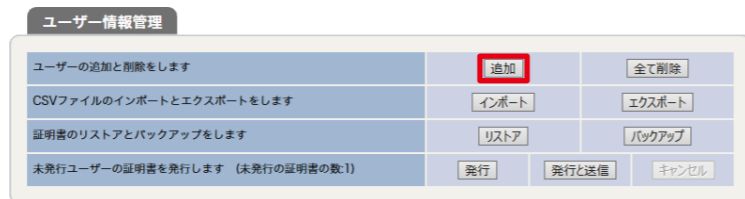


6 「設定」をクリックする。  
設定内容が保存されます。

7 「ユーザー情報管理」をクリックする。



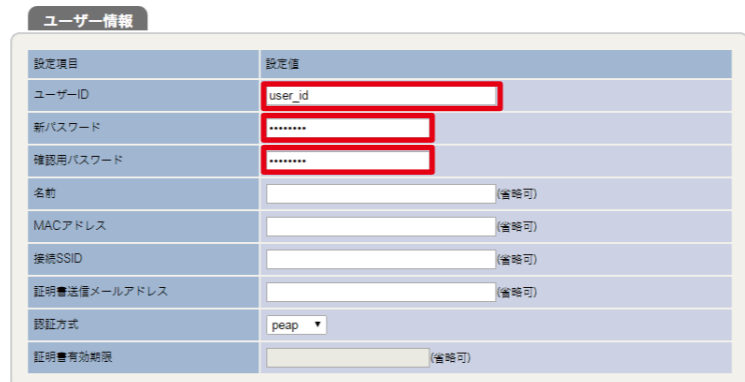
8 「ユーザーの追加と削除をします」項目の「追加」をクリックする。



9 ユーザー情報を入力する。  
ここでは例として下記の情報を入力しています。

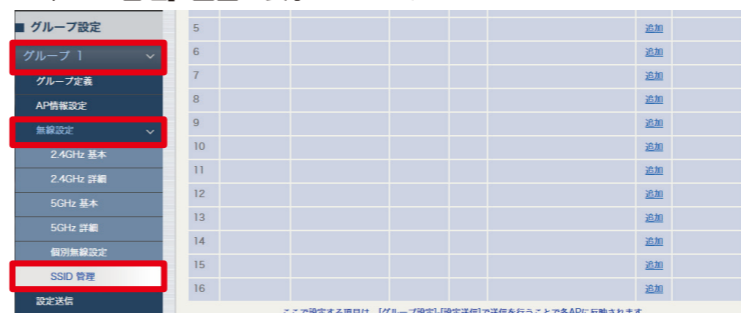
ユーザー ID : user\_id  
新パスワード / 確認用パスワード : password

ヒント  
設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をご覧ください。

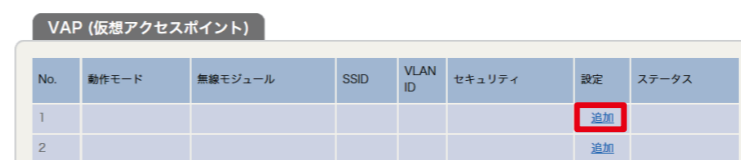


10 「設定」をクリックする。  
設定内容が保存されます。

11 「グループ 1」-「無線設定」-「SSID 管理」を順にクリックする。  
「SSID 管理」画面が表示されます。



12 無線設定を追加する番号の「追加」をクリックする。



13 設定内容を入力する。  
ここでは例として下記の情報を入力しています。

バインドする無線モジュール : 2.4GHz、5GHz  
SSID : Yamaha  
認証方式 : WPA2-EAP  
暗号化方式 : AES  
プライマリ RADIUS サーバー : 内蔵の RADIUS サーバーを使用する

ヒント  
設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をご覧ください。



14 「設定」をクリックする。  
設定内容が保存されます。

15 「設定送信」をクリックする。  
「設定送信」画面が表示されます。



16 「送信先」項目から設定を送信する AP をチェックする。



17 「送信」をクリックする。  
送信先に指定した AP に本製品の設定を送信します。

### 5 本製品の IP アドレスを設定する

本製品を接続するネットワークに合わせ、本製品の IP アドレスの設定を変更してください。本紙では、「192.168.1.240」への設定変更を例に説明します。

#### ご注意

・設定した IP アドレスによっては本製品とパソコンが接続できなくなります。  
・本製品の無線設定が終わったら、パソコンの IP アドレスを元に戻してください。

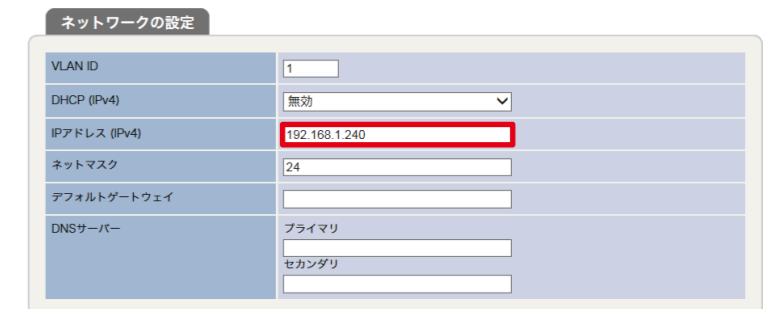
#### ヒント

設定内容について詳しくは、設定画面の「ヘルプ」をご覧ください。

1 「Web 設定画面」のメニューから、「基本設定」-「LAN ポート設定」を順にクリックする。  
「LAN ポート設定」画面が表示されます。



2 「IP アドレス (IPv 4)」項目に「192.168.1.240」と入力する。



3 「設定」をクリックする。  
設定内容の確認画面が表示されます。

4 「設定」をクリックする。  
設定内容が保存されます。

### 6 本製品を設置する

「取扱説明書」を参考に、本製品を設置しネットワークに接続してください。  
本製品で管理する Member-AP として、その他の WXL402 をグループ登録する手順については、「操作マニュアル」をご覧ください。